

教頭だより 9月号

『2学期になって、』

暑い夏休みが終わり、9月になり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。やはり学校には、子供たちの姿がないと寂しいものです。

8月下旬には、「企業と語ろう in つるみ」が開催されました。今年は、企業の方々が20名程、また地域の方々も多数参加いただきました。急遽、施設の工事が入ったため、予定していた会場を変更せざるをえなく、狭いスペースでの講演となりましたこと、お詫び申し上げます。

「企業」や「進路」というと、高等部の保護者が圧倒的に多いと思われましたが、小学部や、地域の中学校からの参加もあり、関心の高さが伺えました。企業からは「基本的な生活習慣」「ルールを守ること」等の話があり、学校や家庭で大切にしていけることを改めて確認することができました。



9月には「鶴見防災キャンプ」が行われました。当日は16組の家庭が参加し、体育館での避難所体験をしました。参加者は、みんなで協力して食事の準備や段ボールを使ったスペースづくりをしました。教員も参加された保護者の方々も、同じ被災者という立場で、「共助」が本校の防災キャンプのスタイル。すでに4回目ということで、みなさん手際よく協力してすすめていました。心配していた体育館での就寝も、ほぼ出来たようです。



2学期より、学校近くの徒歩通学ルートが変わりました。階段を使用することで、ロータリー内の車と徒歩通学者との動線が分かれ、以前より、歩行者の安全が確保されるようになりました。今後とも、安全な通学に向けてご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



教頭 石丸葉子